



大同メタル工業株式会社

2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2026年2月12日

〔東証プライム市場、名証プレミア市場〕

証券コード:7245



2026年3月期 第3四半期実績（連結）

単位：百万円



連結	実績		前年同期比	
	2025/3期 第3四半期	2026/3期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	99,441	103,394	3,953	4.0%
営業利益 営業利益率	4,595 4.6%	5,867 5.7%	1,271 1.1pt	27.7%
経常利益 経常利益率	4,419 4.4%	5,126 5.0%	707 0.5pt	16.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 純利益率	1,470 1.5%	2,458 2.4%	987 0.9pt	67.1%
自己資本当期純利益率 (ROE) *	2.8%	4.4%	1.6pt	-
自己資本比率	36.1%	37.4%	1.3pt	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	38,982	40,325	1,343	3.4%
為替レート (1USD/円)	142.73	148.88		
為替レート (1ユーロ/円)	159.43	174.47		

左記為替レートは
各期9月末TTMレート

*ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

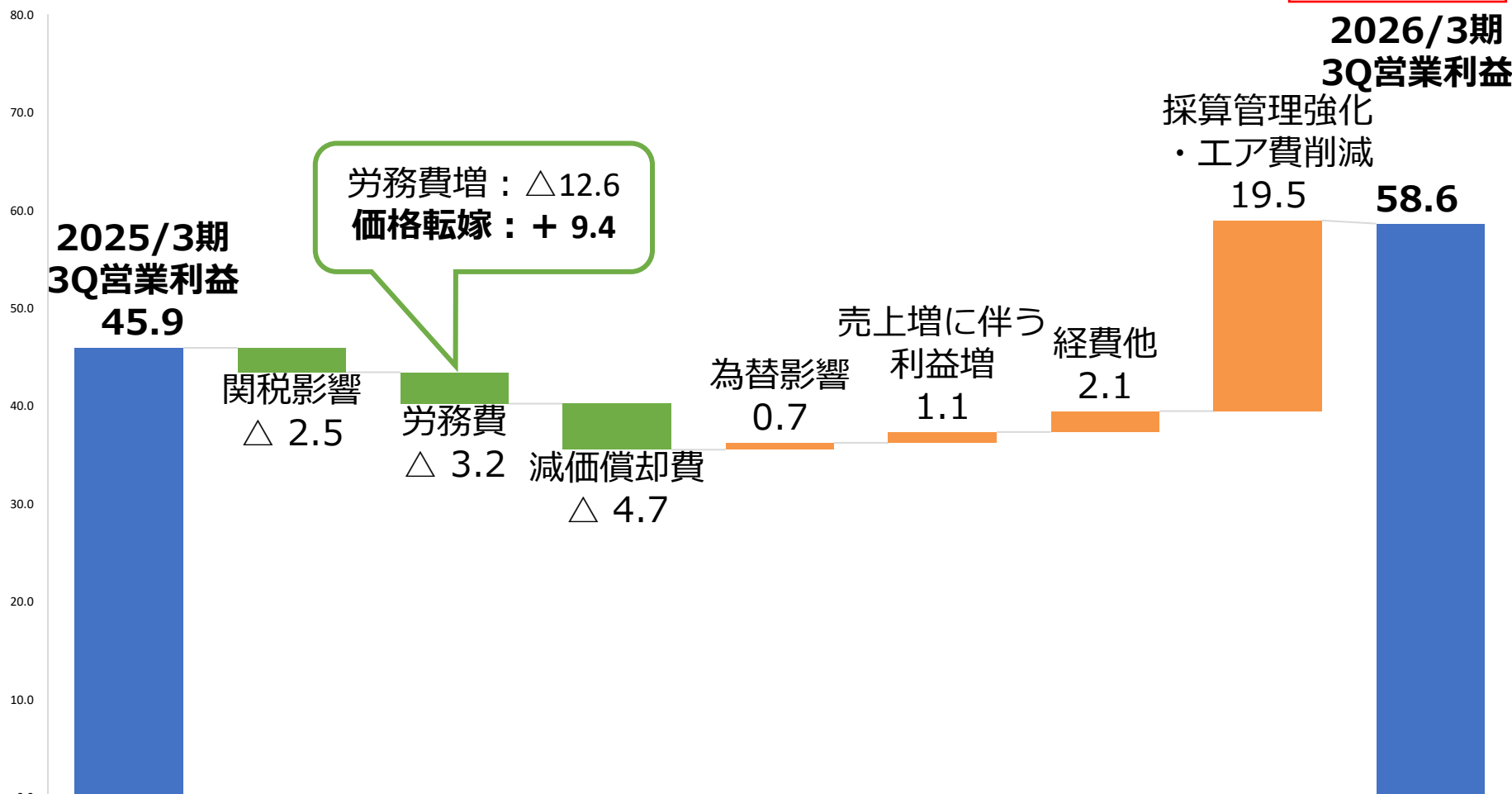
連結営業利益の増減要因【実績】

単位：億円



前年同期比

2026/3期
3Q営業利益



関税影響、労務費増、減価償却費増により約19.8億円利益減があったものの、
労務費の価格転嫁、為替影響、売上増に伴う利益増、経費減、採算管理強化・工ア費削減
等で約32.8億円の利益増があり、前年同期比約12.7億円増益

2026年3月期 通期予想(連結)

単位：百万円



連結	実績	予想		前年同期比		直近公表値比	
	2025/3期 通期	2026/3期 直近公表	通期 今回修正	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	136,303	134,000	134,000	△ 2,303	△ 1.7%	—	—
営業利益 営業利益率	7,091 5.2%	8,000 6.0%	8,000 6.0%	908 0.8pt	12.8%	—	—
経常利益 経常利益率	6,820 5.0%	7,000 5.2%	7,000 5.2%	179 0.2pt	2.6%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 純利益率	2,720 2.0%	3,500 2.6%	4,000 3.0%	1,279 1.0pt	47.0%	500 0.4pt	14.3%
為替レート (1 USドル/円)	158.18	150.00	156.56	△ 1.62		6.56	
為替レート (1 ユーロ/円)	164.92	174.00	184.33	19.41		10.33	

12月末TTMLレート

12月末TTMLレート

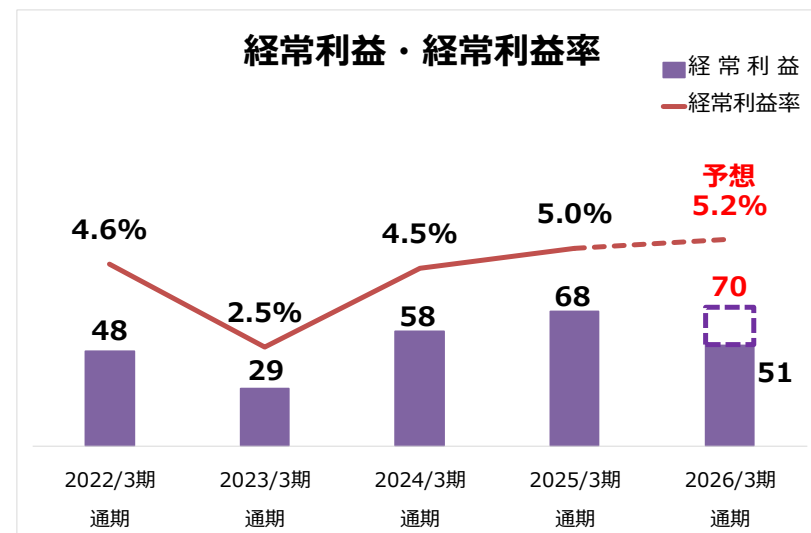
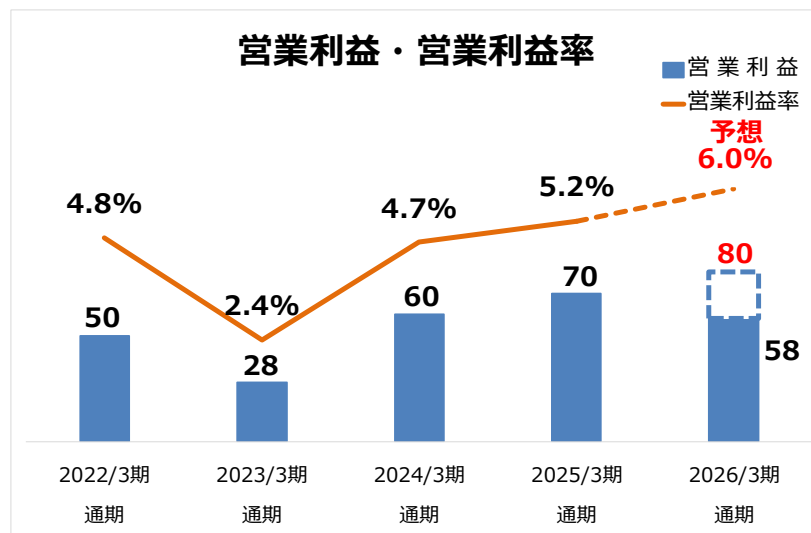
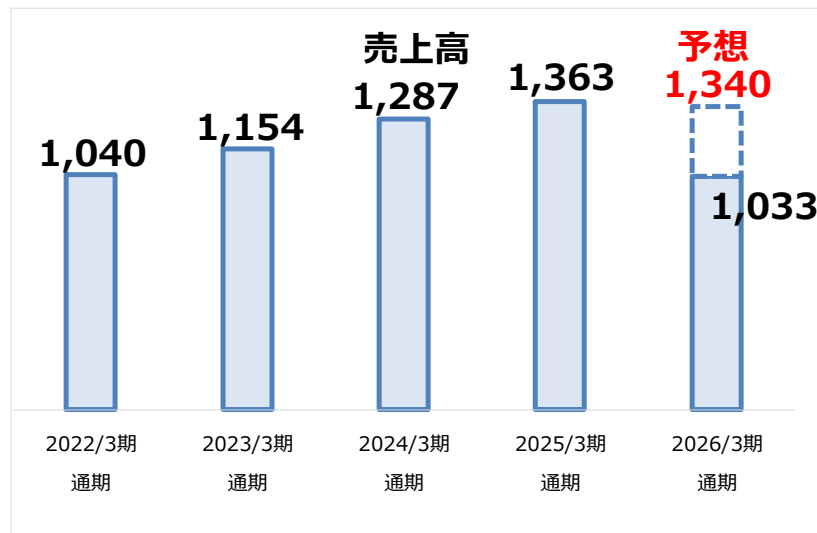
2026年3月期通期連結業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益（投資有価証券売却益）を計上することに伴い、2025年11月13日に公表した予想値より修正いたします。

(予想)

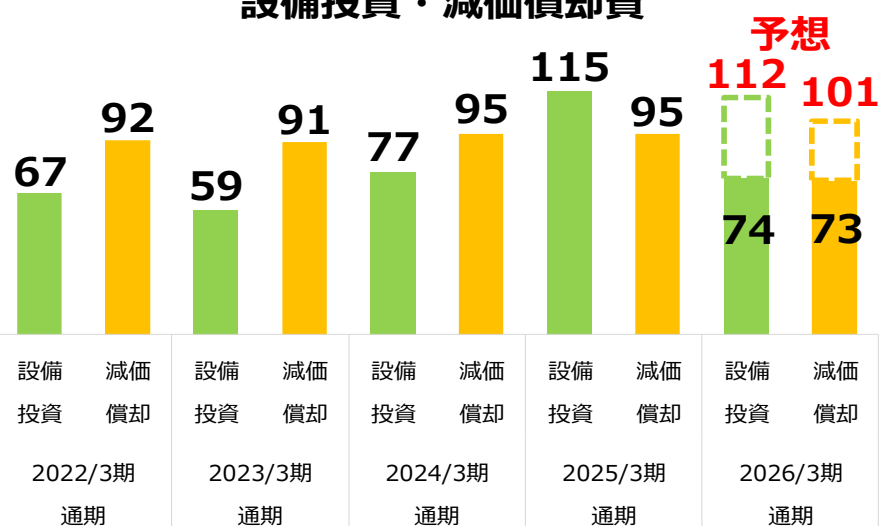
<配当金推移>	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
中 間	10円	10円	2円	7円	12円
期 末	15円	2円	13円	11円	16円 4円増配※
年 間	25円	12円	15円	18円	28円 4円増配※

配当性向	61.4%	—	27.5%	31.2%	32.8%
利回り (期末株価ベース)	4.4%	2.3%	2.2%	3.6%	—

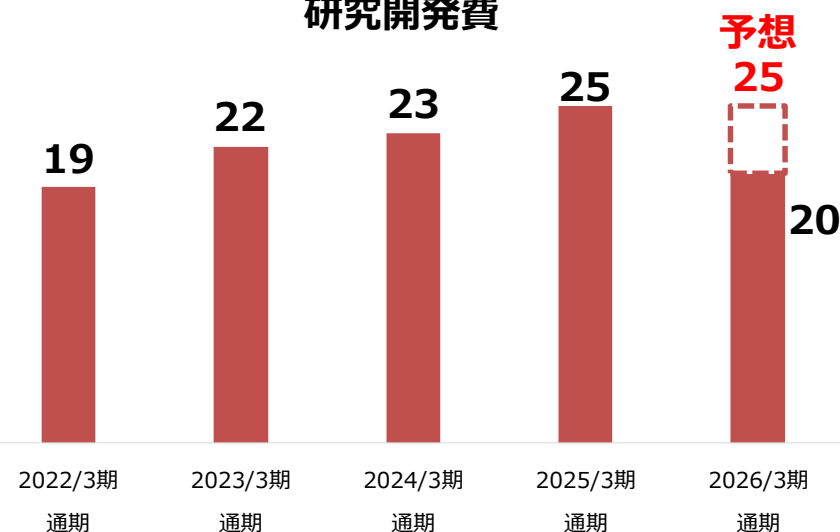
※2026年3月期の期末配当予想につきましては、2025年11月13日公表から
4円増配の16円（年間配当は1株当たり28円）へと修正いたします。



設備投資・減価償却費



研究開発費



前年同期比

セグメント	売上高 構成比	【売上高】		【営業損益】	
		増減額	増減率	増減額	増減率
パワートレイン事業 (旧：自動車用エンジン軸受)	52.2%	1,993	3.8%	519	7.8%
マリン・エネルギー事業 (旧：非自動車用軸受)	13.7%	1,157	8.8%	113	4.2%
ライフ事業 (旧：自動車用エンジン以外軸受)	16.2%	1,489	9.7%	590	26.1%
フロンティア事業 (旧：自動車用軸受以外部品)	16.3%	△ 691	△ 3.9%	572	—
その他	1.6%	△ 149	△ 8.3%	29	9.6%
セグメント間消去		153		△ 554	
全体合計：		3,953	4.0%	1,271	27.7%

パワートレイン事業

(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：自動車用エンジン軸受

□ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

【売上】 +1,993 (+3.8%)

◎日本（トラック）：

中国向け（産業機械用）の需要回復に伴う受注増や値上げによる影響

◎韓国：市場全体の回復やハイブリッド車の好調による受注増

◎中国：中国メーカーの需要の戻り、プラグインハイブリッド車の販売拡大や中国2輪メーカー開拓による受注増

◎北米：主に北米メーカーハイブリッド車用の好調やダウンサイジングエンジン向けのシェア拡大による受注増

△欧州：自動車産業の不振やEV化に伴う内燃機関搭載車の需要減による受注減

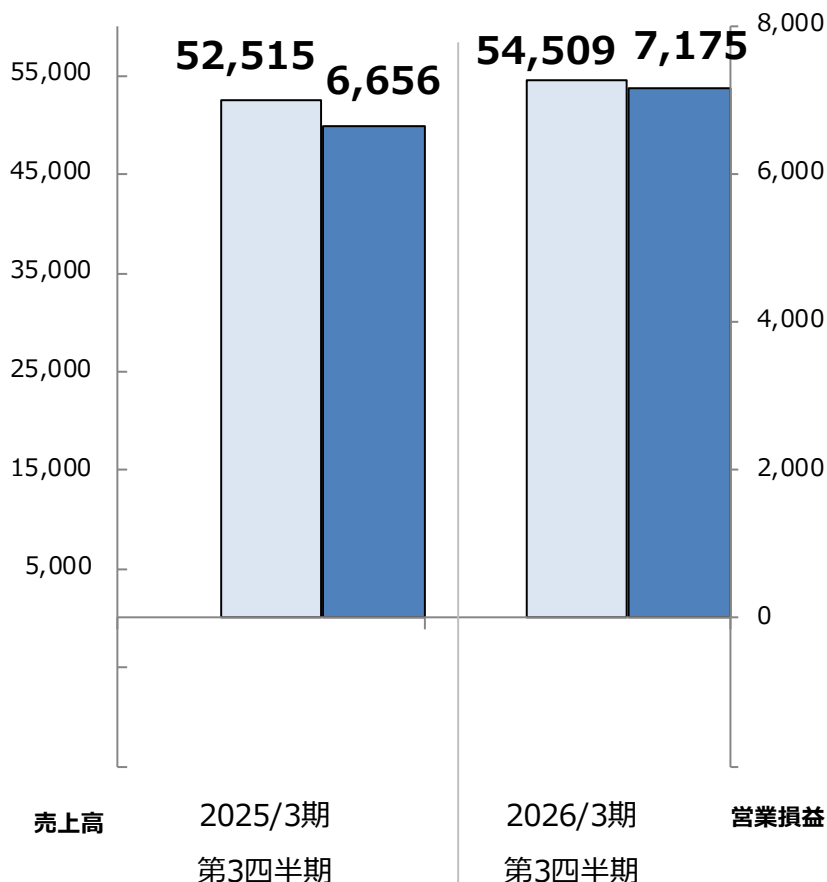
【営業損益】 +519 (+7.8%)

◎日本：不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響

◎韓国・中国：増収による影響

◎北米：増収による影響、ドル高ペソ安によるメキシコ生産品原価の減少や生産設備の減価償却費の減少による影響

△欧州：販売管理費（倉庫費用や物流コストなど）の削減効果があったものの減収による影響



マリン・エネルギー事業

(セグメント間消去前)

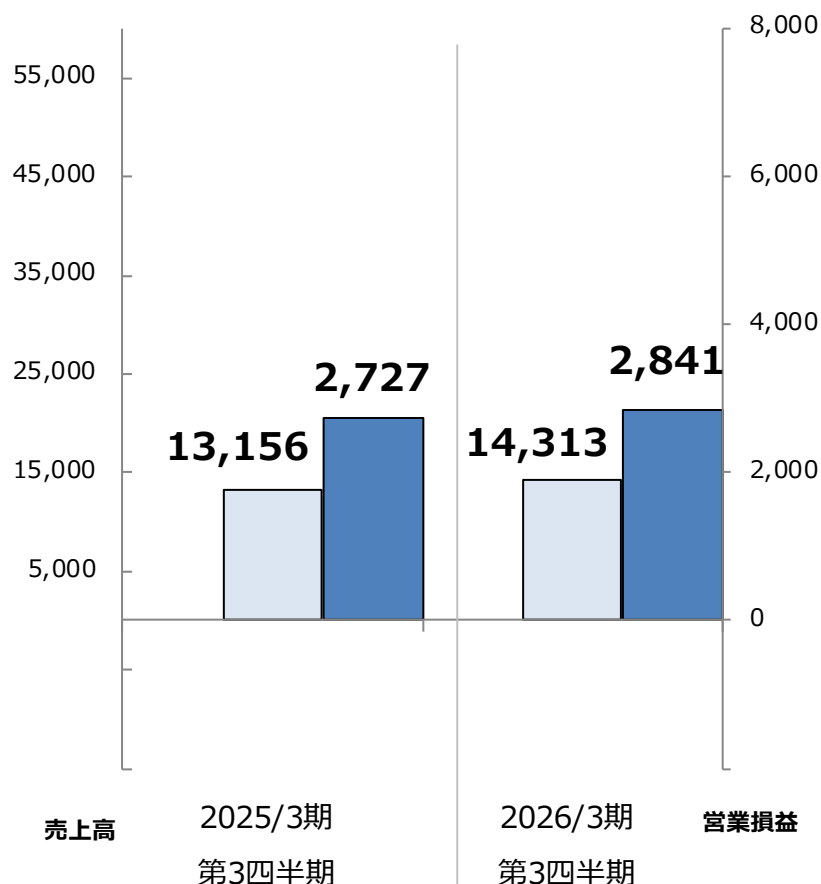
前年同期比

旧：非自動車用軸受

□ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +1,157 (+8.8%)

- ◎ **大型船舶：**
組付、補用品の旺盛な需要や
当社における設備増強の効果による影響
- ◎ **中小型船舶/産業用発電機/建設機械他：**
船舶用補機やデータセンター向けをはじめとする
産業用発電機などに使われる中高速エンジン用軸受
の需要好調や他社からの転注獲得による受注増
- ◎ **電力エネルギー/産業用コンプレッサー他：**
水力発電機用軸受のスポット案件がなかったこと
による受注減があったものの、
プラント向けコンプレッサー用軸受の他社からの
転注獲得による受注増や全体的な値上げ効果

【営業損益】 +113 (+4.2%)

- ◎ プラント向けコンプレッサー用軸受の開拓や
値上げ効果による影響

ライフ事業

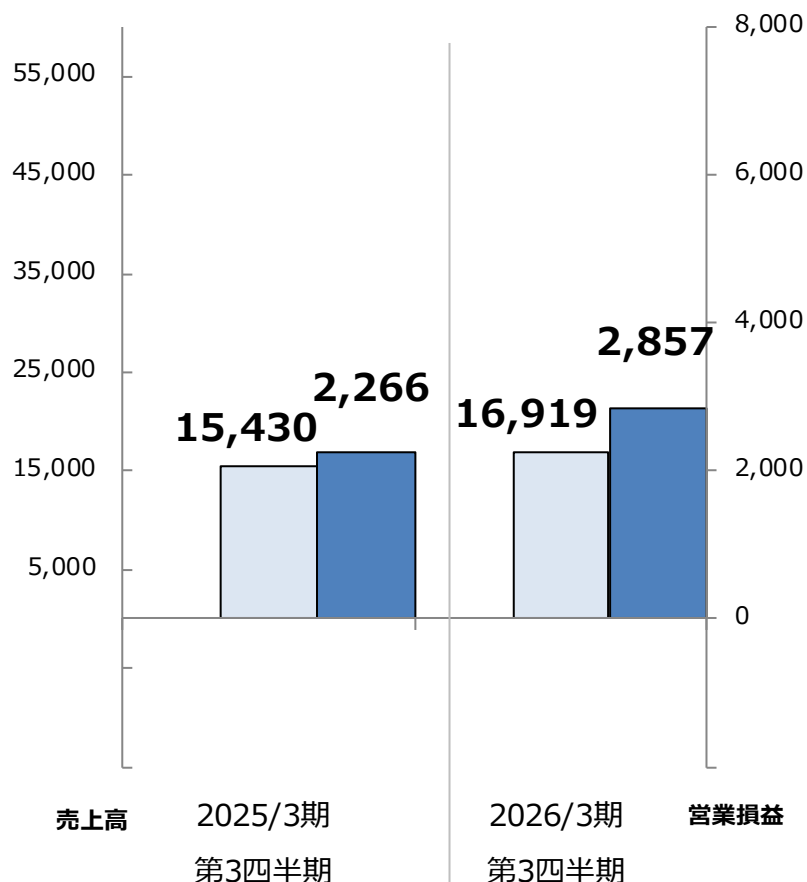
(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：自動車用エンジン以外軸受 □ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +1,489 (+9.7%)

◎ 日本：前年の車両認証不正影響の反動増や値上げによる影響

◎ 中国：中国新車販売の中国メーカーにおけるシェアアップに伴う受注増（ショックアブソーバー用軸受）

【営業損益】 +590 (+26.1%)

◎ 日本：増収や値上げ効果による影響

前年同期比

フロンティア事業

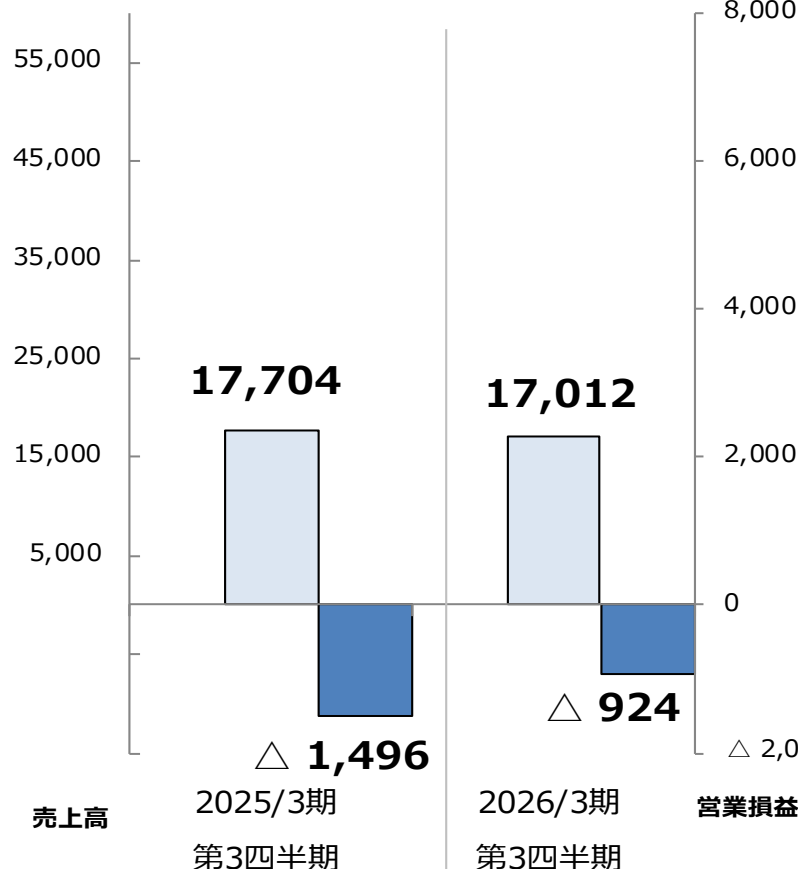
(セグメント間消去前)

旧：自動車用軸受以外部品

□ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 △691 (△ 3.9%)

△アルミダイカスト製品：

日本向け製品一部の生産終了に加えて、米国の半導体不足及びタイにおける需要減少に伴う受注減

△精密金属加工部品：

中国での日系自動車の需要減少及び製品一部の生産終了に伴う受注減

【営業損益】 +572 (－)

◎アルミダイカスト製品：

製造改善等に伴うエア費削減による損失の改善
第2四半期では第1四半期で発生した一時的な収益悪化要因への対応が完了し、黒字に復元したものの、第3四半期では減収の影響や金型承認の遅れと金型の修正トライアルの増加等により計画予算を下回った
新規金型の投入加速と早期定着などにより生産性向上を図る

△精密金属加工部品：

生産能力増強による納期改善に伴い、エア費削減効果はあったものの、減収や顧客への材料費・労務費などの価格転嫁遅れの影響
工程改善による原価低減及び経費削減活動を更に強化する

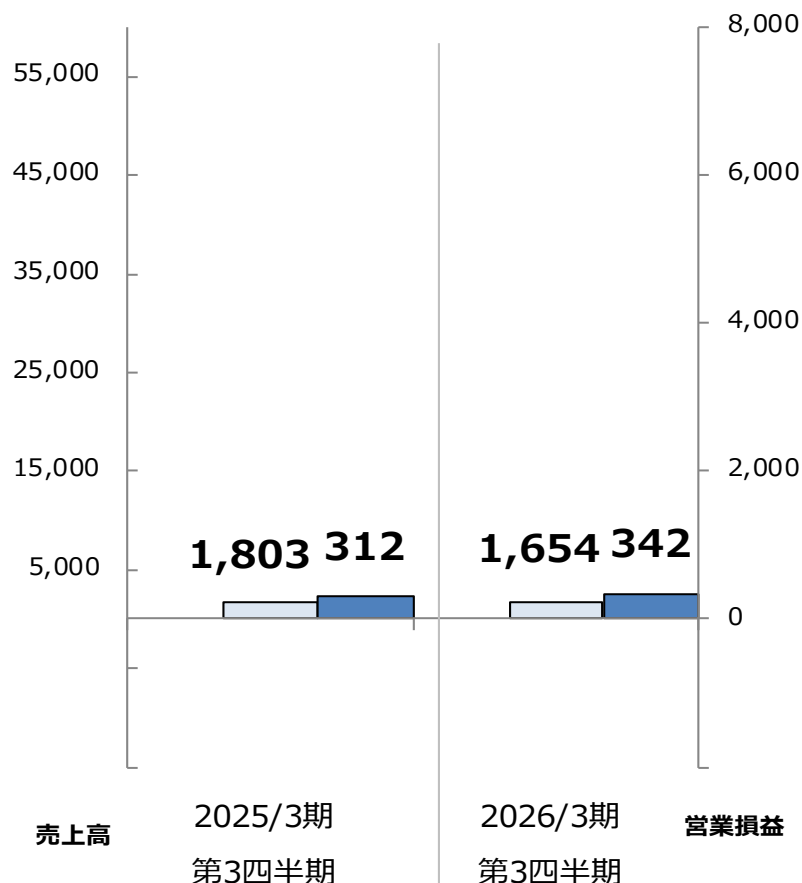
その他

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △149 (△ 8.3%)

△ポンプ関連製品では前年度の需要反動減からの回復や値上げ、設備用潤滑装置での受注増があったものの、金属系無潤滑軸受では前年の大型スポット案件がなかったことによる受注減

【営業損益】 +29 (+9.6%)

◎値上げ効果による影響

※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート等を含んでおります。

前年同期比

所在地	売上高 構成比	【売上高】		【営業損益】	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	52.1%	1,430	2.2%	240	7.3%
アジア	26.1%	△ 592	△ 1.8%	1,336	710.3%
北米	13.1%	1,373	9.0%	291	36.8%
欧州	8.7%	△ 5	△ 0.1%	△ 576	—
内部取引消去		1,747		△ 20	
全体合計：		3,953	4.0%	1,271	27.7%

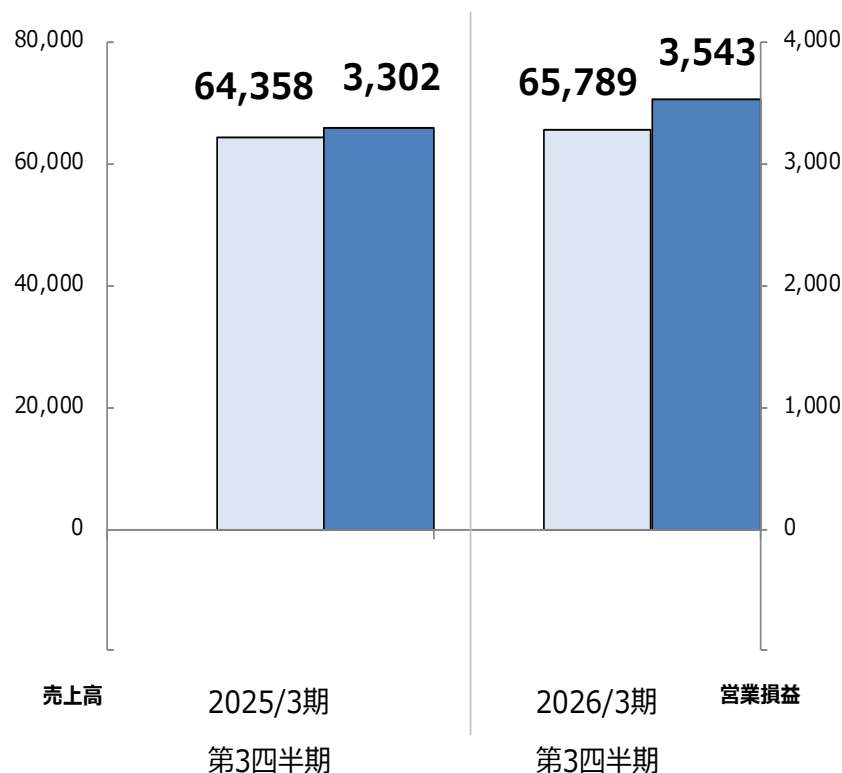
国内

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 +1,430 (+2.2%)

◎自動車用軸受の堅調な需要や
マリン・エネルギー事業の旺盛な需要
による受注増

【営業損益】 +240 (+7.3%)

◎増収、継続的な原価改善、販売価格の調整や
不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響

△**精密金属加工部品**：
顧客への材料費や労務費などの
価格転嫁遅れの影響

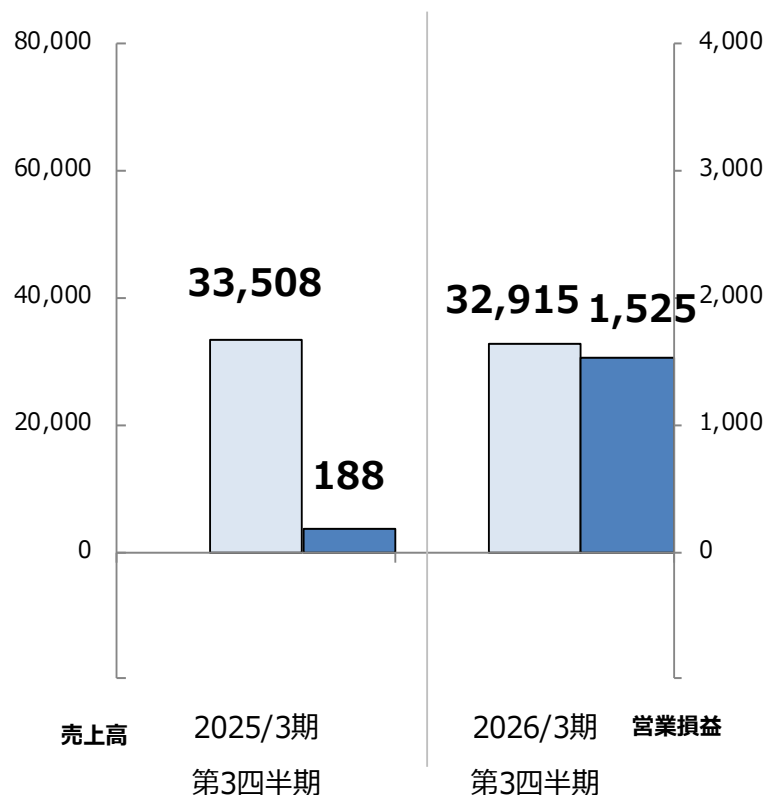
アジア

(内部取引消去前)

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年同期比

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △592 (△ 1.8%)

◎**韓国 自動車用エンジン軸受：**

市場全体の回復やハイブリッド車の好調による受注増

◎**中国 自動車用軸受：**

堅調な需要や中国新車販売の中国メーカーにおけるシェアアップに伴う受注増（ショックアブソーバー用軸受）

△**アルミダイカスト製品：**

日本向け製品一部の生産終了に加えて、米国の半導体不足及びタイにおける需要減少に伴う受注減

△**精密金属加工部品：**

中国での日系自動車の需要減少及び製品一部の生産終了に伴う受注減

【営業損益】 +1,336 (+710.3%)

◎**韓国 自動車用エンジン軸受 / 中国 自動車用軸受：**

増収による影響

◎**タイ 自動車用軸受：**

労務費・経費削減などによる売上原価の圧縮効果

◎**アルミダイカスト製品：**

製造改善等に伴うエア費削減による損失の改善による影響

◎**精密金属加工部品：**

減収の影響はあったものの、生産能力増強による納期改善に伴うエア費削減による影響

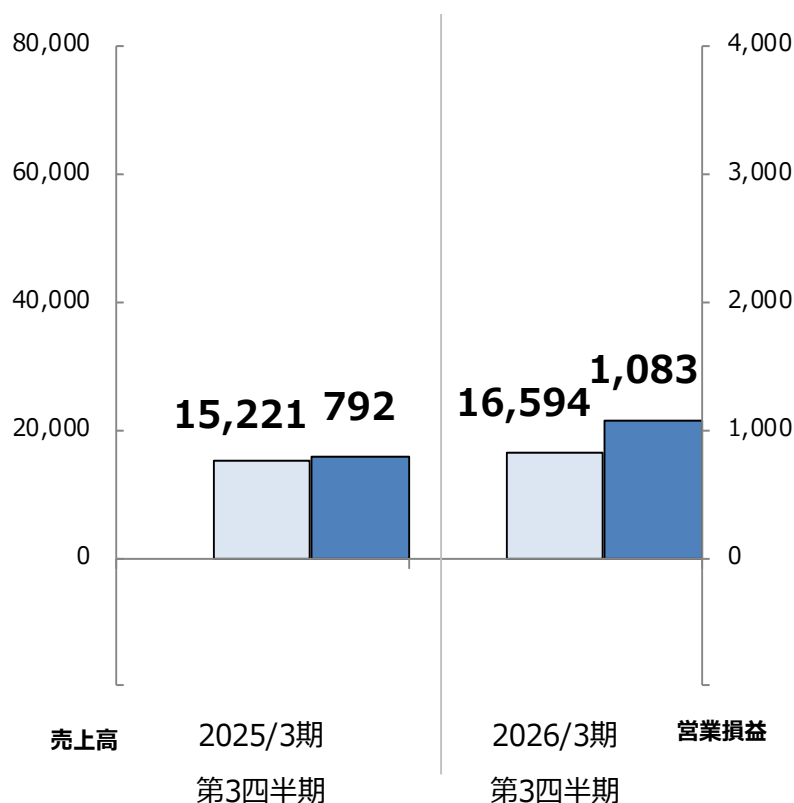
北米

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 +1,373 (+9.0%)

- ◎ 自動車用軸受の堅調な需要やデータセンター向け
中高速エンジン用軸受の受注増
- ◎ 為替の円安による影響

【営業損益】 +291 (+36.8%)

- ◎ 増収による影響、ドル高ペソ安による
メキシコ生産品原価の減少や生産設備の
減価償却費減少による影響
- △ **精密金属加工部品：**
顧客への材料費や労務費などの
価格転嫁遅れの影響

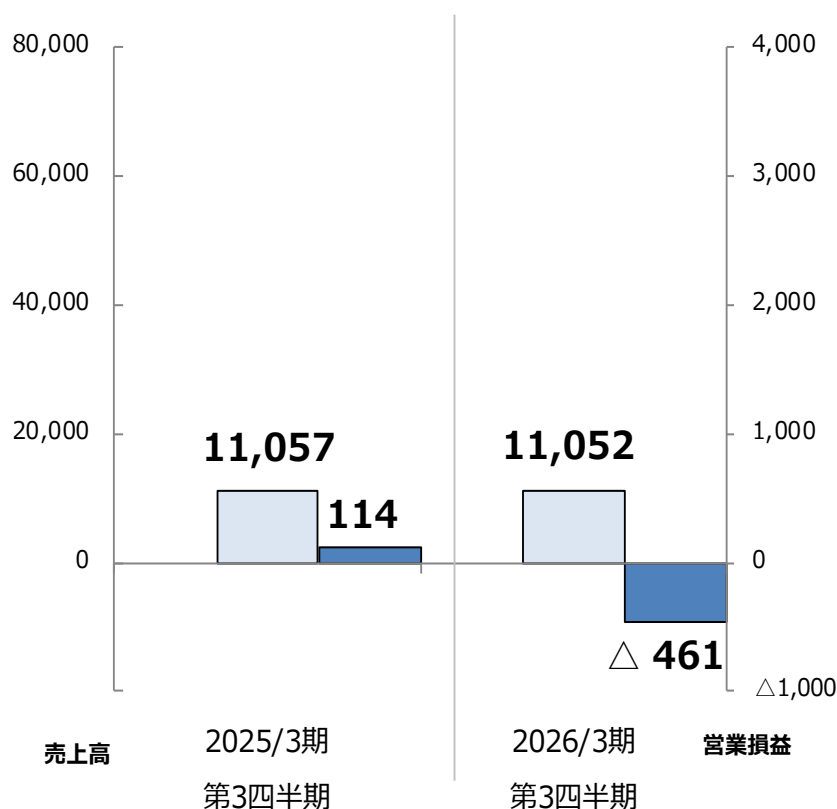
欧州

(内部取引消去前)

前年同期比

□ 売上高
■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 △5 (△ 0.1%)

△自動車産業の不振やEV化に伴う
自動車用軸受の受注減
◎為替の円安による影響

【営業損益】 △576 (-)

△自動車用軸受の減収による影響

Supporting Your Movement.



あらゆる動きを支えて 豊かな暮らしに貢献する

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、当社グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました「業績見通し概要」などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て
比率：表示単位未満を四捨五入

